

Las Mandolinas 第34回演奏会

昨年の総会・懇親会が終わって二週間目の10月26日所沢の「ミュージズ マーキー ホール」で開かれた、24河合和子さんが出演されるマンドリン演奏会「Las Mandolinas 第34回演奏会」を聴かせて頂きました。

河合さんのパートはギター、何とこの演奏会が始まる以前、同好の方々が集まって練習を開始したときからのメンバー、第1回演奏会から連続出演されているそうです。

第1・第2マンドリン(ヴァイオリン役)、マンドラ(ピオラ)、マンドセロ(チェロ)、ギターがオーケストラのヴァイオリンなどの弦楽器に取って代り、コントラバス、管楽器、打楽器、ピアノが加わって総勢42名(全員女性)の堂々たるマンドリンオーケストラです。

指揮、演奏指導の青山忠氏は Las Mandolinas の指導を長年続けてこられ、ソロ、N響・東フィルなどのオーケストラとの共演、ミラノオペラ座他オペラへの参加、CD録音等マンドリンの世界では著名な方です。

昨年話題となった映画「奇跡のリング」 「風立ちぬ」のメインテーマを演奏されました。

800人収容のホールはほぼ満員の盛況、演奏会は二部に分かれ第一部では哀愁を帯びた「小鳩」、青空を思わせる「セヴィラの空」、おなじみの「パリの空の下」「枯葉」「愛の賛歌」とシャンソンメドレー、アラビア風の調べが入る「Desert Rose」(Shingの歌うミュージックビデオを見たような)、「The Rose」はジブリ映画「おもひでぽろぽろ」で高畑勲監督訳詞の「愛は花、君はその種子」が主題歌になり、都はるみがコブシを効かせずに歌いました。

第一部の最後はフルートも入ってオーケストラの迫力を感じさせる「序曲第一番イ長調(不ヴェルキ)」、マンドリンオーケストラの定番曲です。

休憩を挟んだ第二部はこれもおなじみの「いい日旅立ち」「時代」で始まり、懐かしい「街の灯」「キッド」「ライムライト」「モダンタイムズ」などの音楽を奏でる「チャップリン・メドレー」と続きました。

最後を飾ったのがマンドリンオーケストラのために数多くの曲を作った鈴木静一氏作曲「スペイン第二組曲」です。ピアノ、管楽器、打楽器が加わったフルオーケストラ、汽車がカタタン、カタタンと走る音、モロッコへの憧憬を込めたイスラムの調べ、闘牛場の熱狂など音で情景を眼前に見るかのよう描写した音楽です。



Las Mandolinas の皆さんの熱演風景

アンコールはこれまた懐かしい映画「ドクトル・バゴ」より「ララのテーマ」、満場の拍手の中、成程に演奏会が終了しました。

多くの曲では指揮者が先ずギターを向いて指揮棒を振り下ろすとイントロが始まり、しばらく置いてマンドリンのトレモロが湧いてくるように続きます。

ギターはイントロの他、重要な和音での伴奏、そして美しいメロディーも奏でるなど大活躍されている印象を受けました。

2時間近い演奏のために出演者の方々全員すごい練習をされているなど感じました。演奏会が終わってから22尾川原奈美江さんにお目に掛かり、互いに「とても良い演奏会だった」と感想を話し合いました。後で河合さんに何うと他にも何人か千里山会員で聴きに来られる方がおられるそうです。

今年の演奏会は所も同じ所沢「ミュージズ マーキーホール」で10月11日(土)14時から開かれます。入場無料、興味ある方は聴きに行かれますようお勧めします。